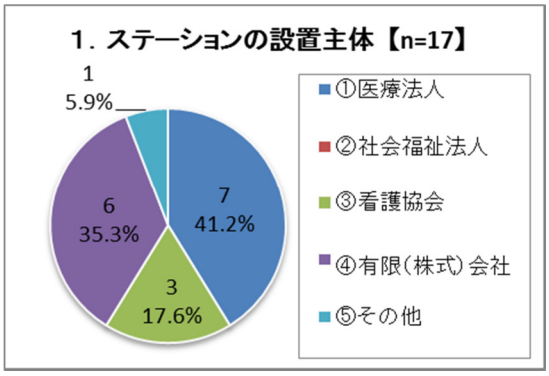
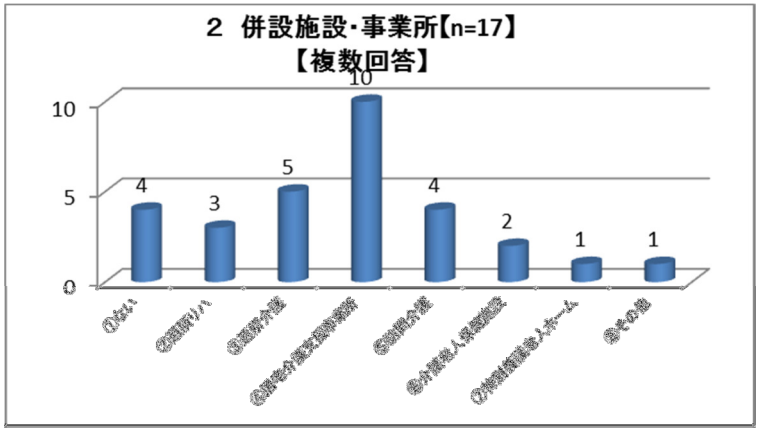
(6)訪問看護ステーション （17 カ所）

1 ステーションの設置主体



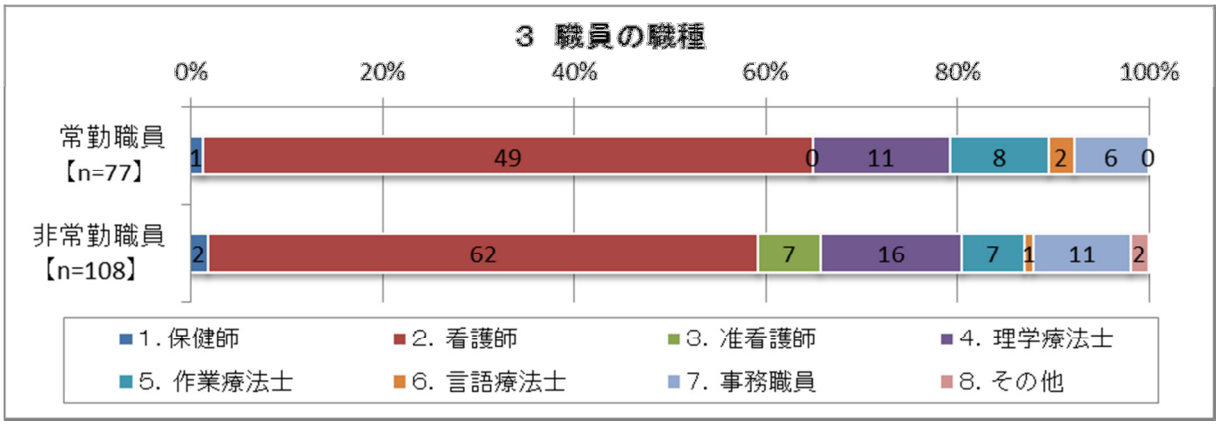
ステーションの設置主体について、「① 医療法人」が７件(41.2%)、「③看護協会」が６件(35.3%)と多かった。

2 併設施設・併設事業所



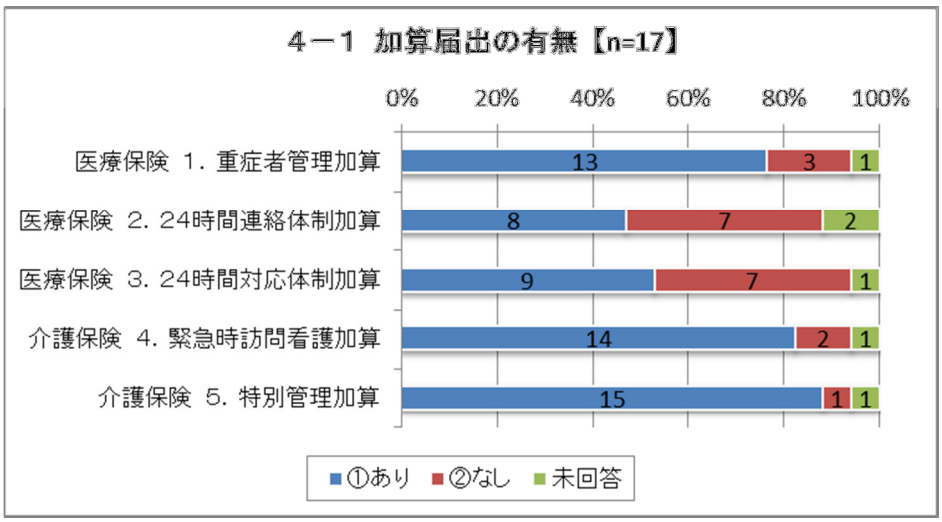
併設施設・事業所について、「④居宅介護支援事業所」が 10 件(58.8%)と最も多かった。

3 職員の職種

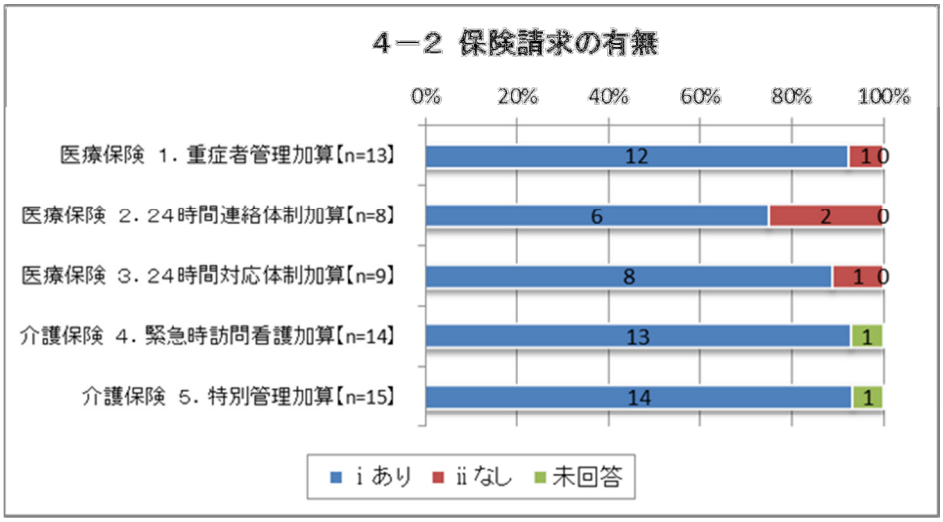


常勤職員では、看護師が 49 人(63.6%)最も多く、次いで理学療法士が 11 人(14.3%)と多かった。非常勤職員も同様に、看護師 62 人(57.4%)、理学療法士 16 人(14.8%)と多かった。

4　届出加算項目について

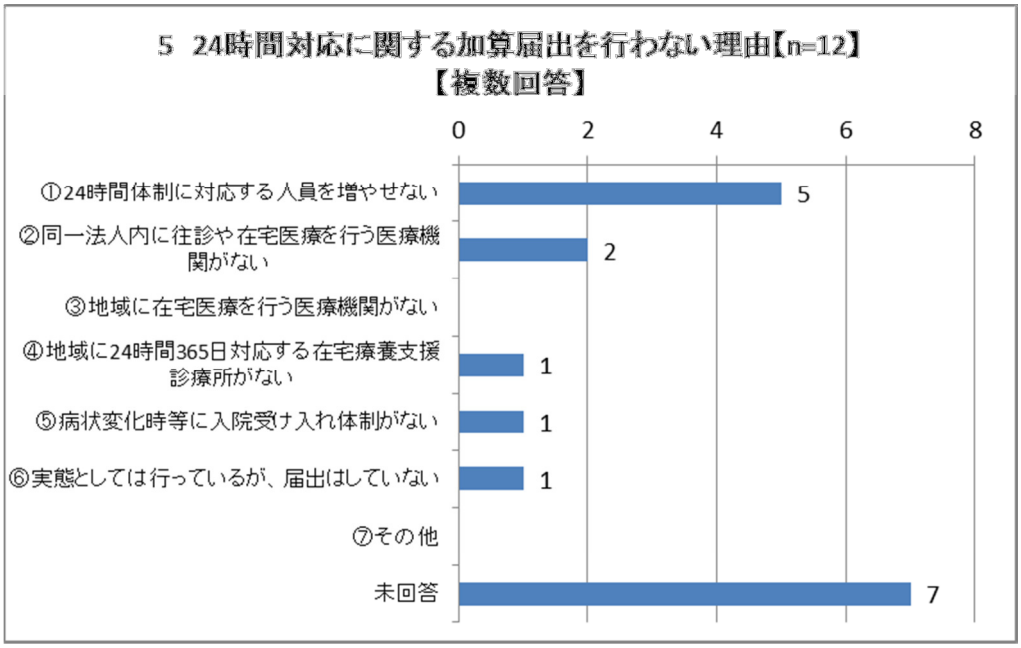


加算届出の有無について、「介護保険　5.特別管理加算」が 15 件(88.2%)、「介護保険　4.緊急時訪問看護加算」14 件(82.4%)、「医療保険　1.重症者管理加算」13 件(76.5%)と多かった。



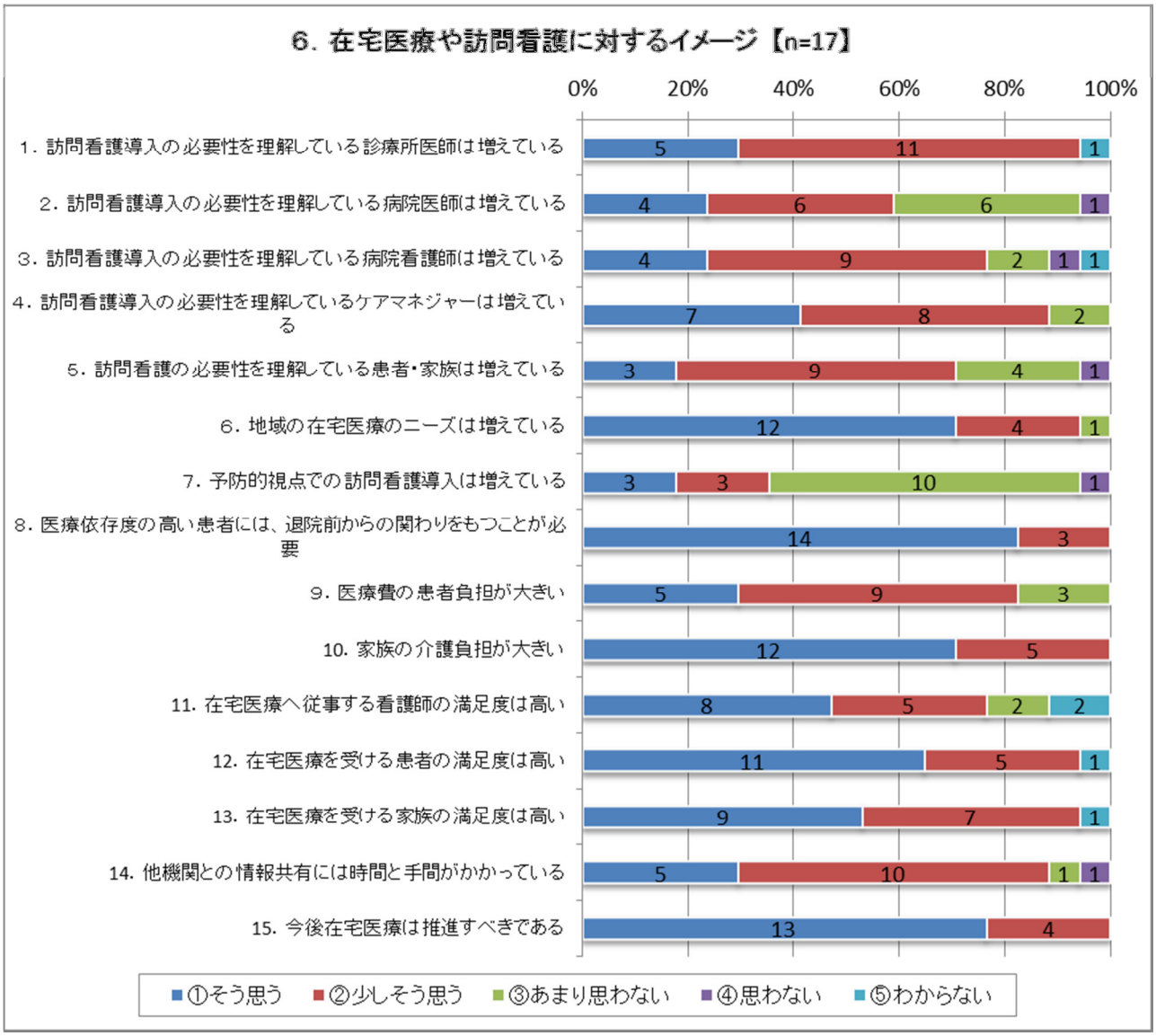
保険請求の有無について、「介護保険　5.特別管理加算」が 14 件(93.3%)、「介護保険　4.緊急時訪問看護加算」13 件(92.9%)、「医療保険　1.重症者管理加算」12 件(92.3%)と多かった。

5　24 時間対応に関する加算の届出を行わない理由



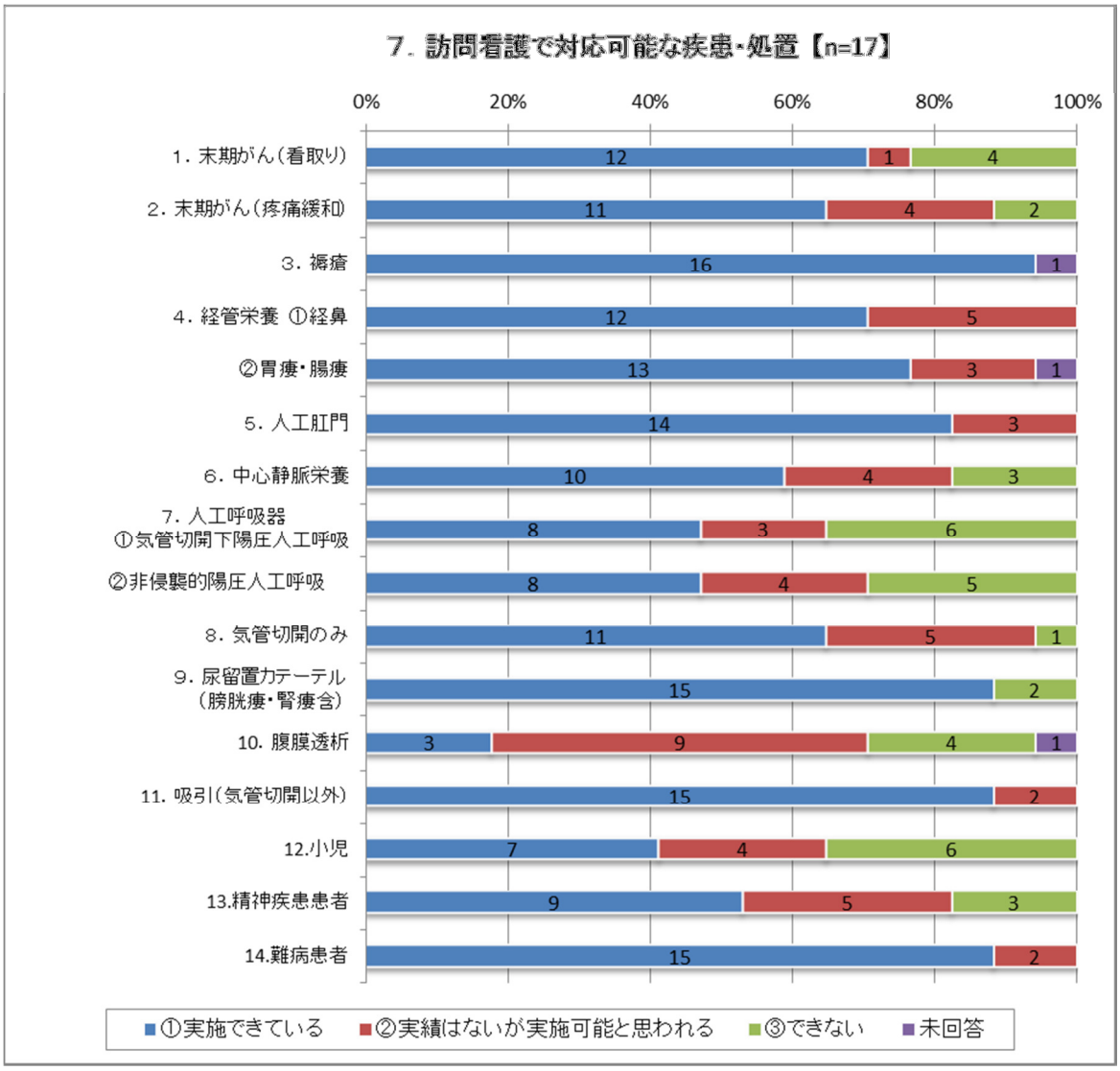
24 時間対応に関する加算届出を行わない理由について、「①　24 時間体制に対応する人員を増やせない」が５件(41.7%)と最も多かった。

６ 在宅医療や訪問看護に対するイメージ



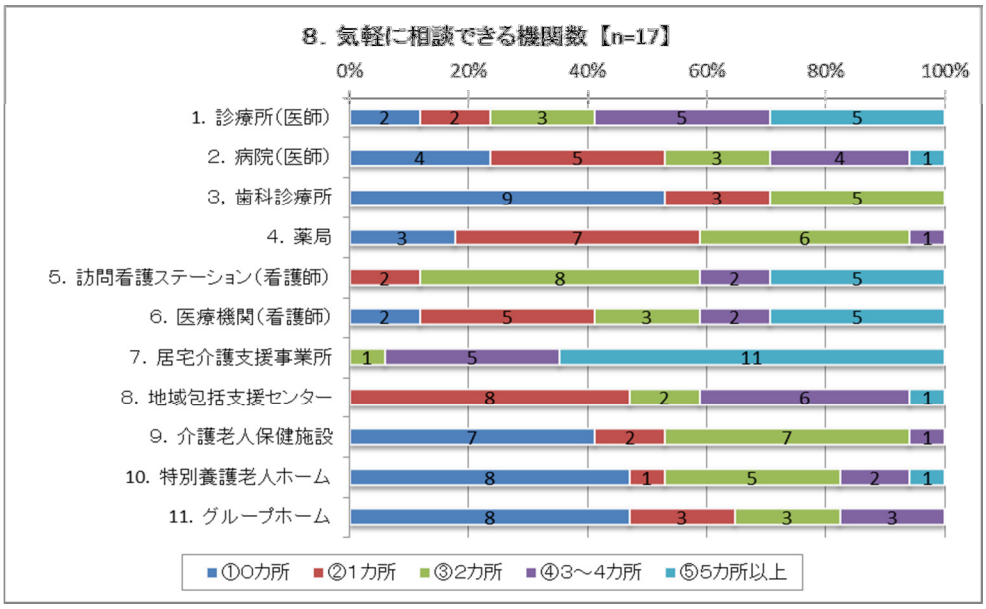
在宅医療や訪問看護に対するイメージについて、「思う」(「①そう思う」＋「②少しそう思う」)と回答した訪問看護ステーションは、「8.医療依存度の高い患者には、退院前からの関わりを持つことが必要」「10.家族の介護負担が大きい」「15.今後在宅医療は推進すべきである」がそれぞれ 17 件(100%)と多かった。

7　対応可能な疾患・処置



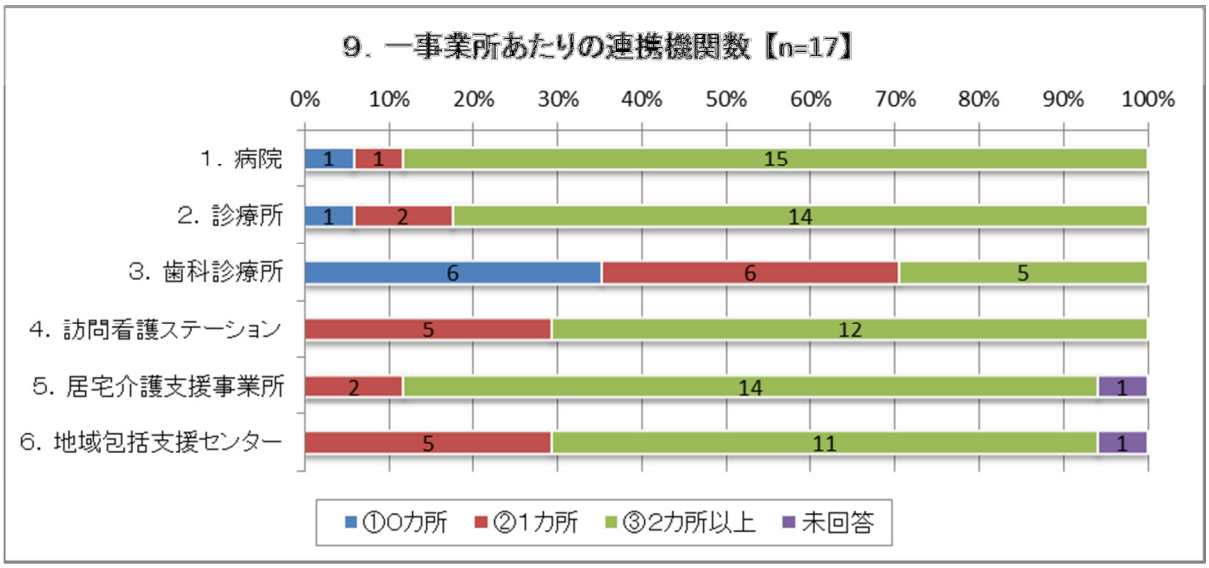
「実施できている」については、「3.褥瘡」が 16 件(94.1)と最も多く、次いで、「9.尿留置カテーテル」「11.吸引(気管切開以外)」「14.難病患者」がそれぞれ 15 件(88.2%)と多かった。

8　気軽に相談できる機関



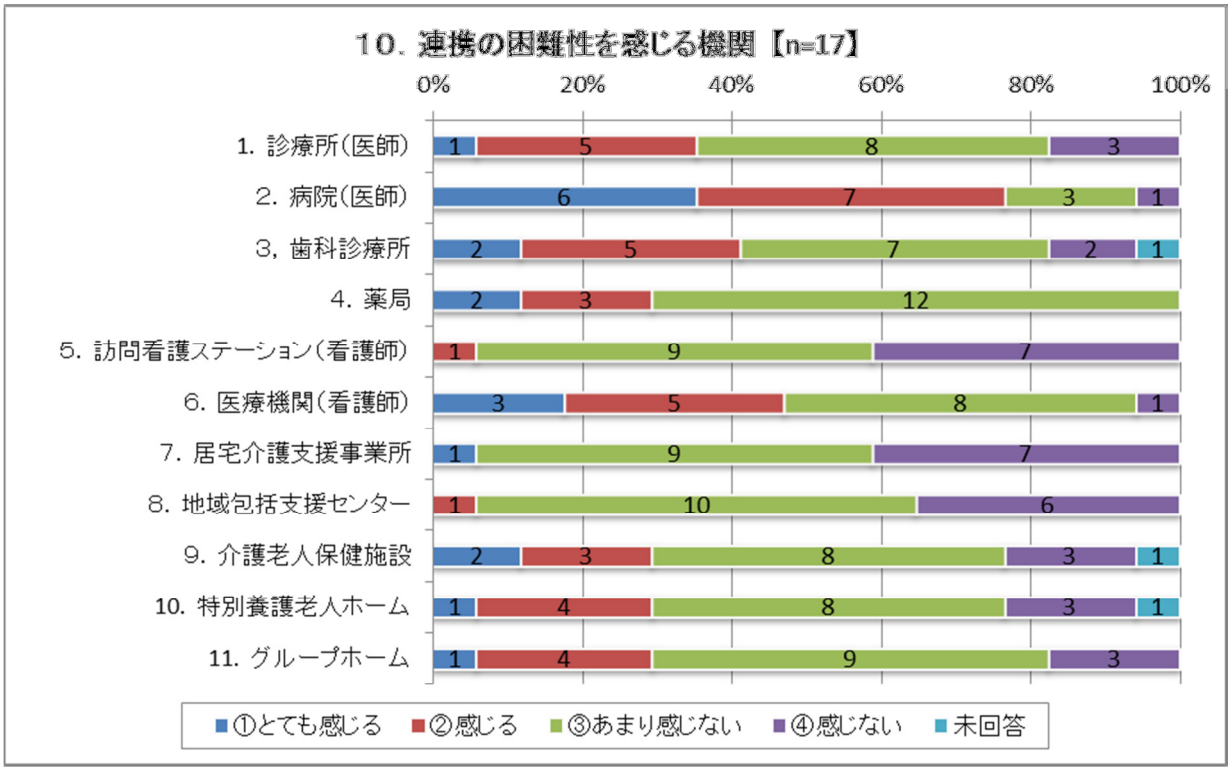
「１カ所」以上あると回答した訪問看護ステーションは、「5.訪問看護ステーション」「7.居宅支援介護事業所」「8.地域包括支援センター」でそれぞれ 17件(100%)と最も多かった。

9 連携機関



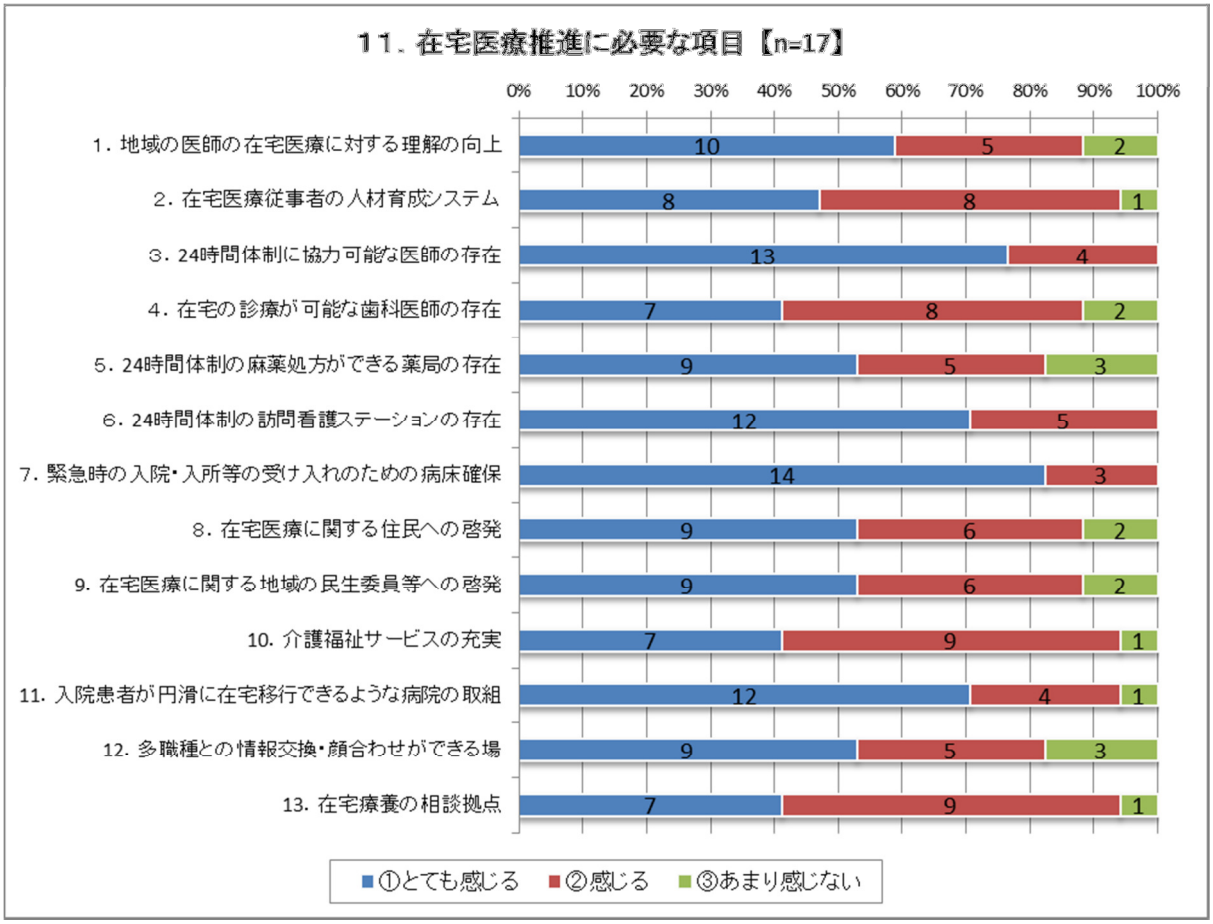
1 機関当たりの連携機関数について、1 カ所以上連携している(「②1 カ所」＋「③2 カ所以上」)が、「4.訪問看護ステーション」の 17 件(100%)が最も多かった。

10 連携強化が困難な機関



連携強化が困難な機関として、「感じる」(「①とても感じる」＋「②感じる」)と回答した訪問看護ステーションは、「2.病院（医師）」が 13 件(76.5%)と多かった。

11 在宅医療推進のための必要項目



在宅医療推進に必要な項目について、「3.24 時間体制に協力可能な医師の存在」「6.24 時間体制の訪問看護ステーションの存在」「7.緊急時の入院・入所等の受け入れのための病床確保」がそれぞれ 17 件(100%)であった。

12 在宅医療についてのご意見

急性、亜急性病床を持つ、二次救急病院への協力や理解を得るための啓発を至急必要であると感じる。在宅移行に大いに関わって頂きたい。顔の見えるつながりを結びたいと願う。
訪問看護ステーションもなかなか人材確保も難しく、またモチベーション維持も大変なところがあります。
団塊の世代が後期高齢者になる2025年には、病院で死ぬことが難しくなるとのことで(ベッド数が足りない) 在宅医療の推進については、急がないといけない事情があります。訪問看護に従事する看護師は、看護師全体の3%しかいないと聞いていますが、人材の確保や啓発活動が重要だと考えます。
在宅医療を行うなかで、医師との連携がむずかしいです。在宅往診医が少ないためか、総合病院に通院している方が多いように思います。また、総合病院の医師も、在宅医に引きつぐ働きかけをあまりされてないように感じます。結果夜間など病状が悪化した時に、救急で今までかかっていない病院に搬送されることもありました。
・小児への訪問看護が増えてきていますが、医療処置の多い重心児の訪問は2時間以上かかることが頻繁にある上、スタッフのストレスもかなり大きい。週3回の長時間加算がつくようになっても、事業所としては、経営する上でマイナスになっているため報酬がもう少し見合ったものになってほしい。 ・訪問リハは訪問看護と全く別ものとして算定できるようにしてほしい。医療で2ヶ所同日に入れない為、訪問看護の必要があるときにどちらかが実費になってしまう事は納得いかず改善してほしい。
地域の開業医が在宅医療について真剣に検討してほしい(例えば、地域の医師会で)訪問看護ステーションは365日24時間医師の「指示書」で動いております。他の多職種も、在宅医療とケアの連携は、充分、会議で検討していますが要の医師が動かないと進まないのが。